

自ら働きかける気概をもち、多様な見方と実践的な学びを通して、郷土に貢献できる生徒の育成

研究主題

「自律的な学び」で育つ資質・能力
～学びの環境に主体的に関わることで育つ自己調整力～

ワクワク

ドンドン

ニコニコ

目指す姿

生徒が自らの問いに夢中になって向かい、できたが溢れる姿

取組重点

- 1 主体的に取り組むための環境構成
- 2 自律的な学びを育てる学習者中心の授業改善

1 主体性

個人研究
で追究！

2 自律的な学び
～学習者中心の授業改善～

- 幼児教育の主体的に環境に関わることで習得する資質・能力の研究
 - ・ 静岡県版幼小接続モデルカリキュラム
 - 「じぶんできた！ いっしょにやろう！」研究
 - ・ 夏季研修講師：「県教委幼児教育指導主事」
- どうやって主体的にさせるかの研究
 - 「学習の転移」：机上で得た知識を日常でどう使うかを主眼に置いた研究
- 「そろえる、合わせる、みんな同じ」から「自分のペースで、多様な他者との協働的な学び」で伸ばす教育
 - ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 「知・好・楽」を取り入れる。

- 単元のカリキュラム・マネジメント
 - ・ 「習得・活用・探究」の明確化と学習者中心の単元構成
 - ・ 単元を貫く「開かれた問い」の設定
- 脳科学からのアプローチ
 - ・ 参考：「佐中版・学習者中心授業改善」
 - ・ アウトプットを意識した学び
 - 自律的なテストによる効果
- ICTを活用した個別最適な学び
- 関連付け学習（精緻化学習）⇒教科等横断的な学習の追求

その他研究の場

- ・ 自分時間
- ・ ST<価値創造へのチャレンジ>
- ・ 特別活動（生徒会、常任委員会）
- ・ コグトレ

「反転学習」：授業と宿題を反転させ、知識・技能は授業時間外に移行し、教室では、活用・探究のための課題解決学習や協働学習等を中心に行う。教師の出番20%

目指す授業改善の姿

生徒の能力を向上させ、目指す姿に少しずつ近付ける

ワークショップで各自
研究成果を共有

研究を支える基盤

- ・ 教師の指導観、子供観、授業観、教育観のパラダイム・シフト
- ・ 子供目線(DemandSide)で学校教育を考える。
- ・ VUCAの時代「持続可能な社会の創り手」を育成する。